

1月 8日 ご祈願しおりで受験生を応援

1月8日、株式会社ソラシドエアの大分支店と東京空港支店のスタッフが文殊仙寺を訪れ、同社オリジナルしおりの護摩焚き祈願を行いました。このご祈願は、同社の「がんばれ！受験生応援プロジェクト」として行われたもので、しおりは進学や就職試験に臨む受験生に、ソラシドエアが就航している空港のカウンターや搭乗口で配布されます。



1月 10日 「茶の湯炭」が世界農業遺産ブランドに

1月10日、国東製炭の春山林生窯長が市役所を訪れ、同社の木炭商品「茶の湯炭」が国東半島宇佐地域の世界農業遺産地域ブランド認証品として認定されたことを三河市長に報告しました。春山さんは「国東のクヌギの原木で作った炭ということが証明されるので、商品を通じて市や農業遺産の宣伝に貢献できれば嬉しいです」と話していました。



1月 11日 「わんわんパトロール」見守り活動1周年

1月11日、国東町鶴川の多目的施設「TSU RUGAWAコーナ」で、市内の愛犬家によるボランティア団体「くにさき見守り隊」の活動1周年を記念する集いが開かれました。参加者同士の交流のほか、今後も「わんわんパトロール」の呼び名で愛犬との散歩時に高齢者や認知症の人たちへの見守りを続けていくことを確認しました。



1月 23日 支え合う地域づくりを目指して

1月23日、武蔵保健福祉センターで、「精神障がい者を知るための国東フォーラムinむさし」が開催されました。作業療法士の八谷隆之さんが、自身が薬物依存症で苦しんだ経験をもとに講演。続けて、参加者がグループに分かれ「心の病のある方にとって必要なこと」をテーマに、支え合う地域づくりについて話し合いました。



12月18日 国東市柑橘研究会がミカン約1トン寄贈

12月18日、国東市柑橘研究会(西田勤三郎会長)が市内の幼稚園や保育施設、小中学校にミカン約1トンを寄贈しました。西田さんは「地元で収穫した甘くて美味しいミカンを食べて、子どもたちにミカンを好きになってもらいたい」と話していました。



国東こども園



右端:西田会長

12月19日 世界に通用するマナーを学ぶ

12月19日、安岐中学校で、日本航空株式会社のスタッフのみなさんを講師に迎えて「おもてなし講座」が開催されました。社内サービスコンテストで優秀な成績を収めたスタッフの方々が、接客やあいさつの方法を生徒に指導。参加した全校生徒が、世界に通用するきめ細やかなマナーを学びました。



12月19日 国東の自然を守る活動が評価

12月19日、「NPO法人国東市手と手とまちづくりたい」のメンバーが市役所を訪れ、「大分低炭素杯2019」の大分県地球温暖化防止活動推進センター長賞の受賞を三河市長に報告しました。海亀の保護活動や学校での環境学習の実施など、団体の国東の自然を守る活動が評価されたものです。



12月23日 新宮自転車商会が市に自転車を寄贈

12月23日、国東町鶴川の新宮自転車商会(兼利良幸代表)がスポーツタイプの自転車1台を市に寄贈しました。兼利さんは「市に何かお役に立てることがあればと思い寄贈しました」と話していました。自転車は国東保健センターに配置し、近隣への交通手段として活用される予定です。

